



S.Setoguchi

THE TULIP SHO

第32回 チューリップ賞 (GII)

1着 本賞 52,000,000円
付加賞 1,078,000円
2着 21,000,000円
3着 13,000,000円
4着 7,800,000円
5着 5,200,000円
付加賞 308,000円
馬体重 154,000円

レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳
負担重量 馬齢重量

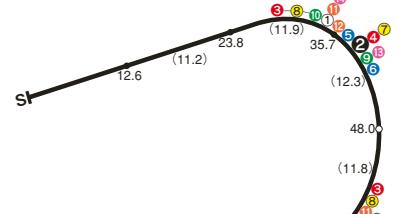
2025.3.2 阪神 小雨・良 芝1600m (国際 指定)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝オッズ	調教師	レーティング
							(着差)	通過順位 (600m)	(増減)				
1	②	クリノメイ	牝	3	55	酒井 学	1:34.0	4-3	33.7	446(-2)	39.3@	須貝尚介(栗東)	108
2	⑪	ウォーターガーベラ	牝	3	55	武 豊	ハナ	9-11	33.2	446(+4)	15.1@	河内 洋(栗東)	107
3	⑨	ビップディジー	牝	3	55	幸 英明	%	2-2	34.0	434(-2)	2.9①	松下武士(栗東)	106
4	①	ザラターン	牝	3	55	池添謙一	1¼	9-7	33.8	438(-4)	75.0@	中竹和也(栗東)	103
5	④	ナムラクララ	牝	3	55	西村淳也	ハナ	4-3	34.0	470(-2)	5.0③	長谷川浩大(栗東)	103
6	⑫	ルージュソリテール	牝	3	55	北村友一	クビ	8-10	33.6	428(-2)	12.3⑤	藤原英昭(栗東)	103
7	③	ノクナレア	牝	3	55	松山弘平	クビ	14-14	33.1	442(-8)	19.6@	今野貞一(栗東)	103
8	⑥	プリンセッサ	牝	3	55	和田竜二	%	1-1	34.7	500(-8)	100.9⑩	牧田和弥(栗東)	103
9	⑦	ルージュナリッシュ	牝	3	55	川田将雅	アマ	4-6	34.1	438(-14)	15.0⑥	国枝 実(美浦)	103
10	⑤	フェアリーライク	牝	3	55	岩田望来	アマ	7-7	33.9	456(-6)	6.3④	笛田和秀(栗東)	103
11	⑭	マイエレメント	牝	3	55	坂井瑠星	2	9-7	34.2	484(+4)	4.6②	福永祐一(栗東)	103
12	⑧	サウンドサンライズ	牝	3	55	松若風馬	%	13-13	33.8	398(-8)	206.1⑩	音無秀季(栗東)	103
13	⑩	メイショウウタマユラ	牝	3	55	田口貴太	クビ	12-11	34.0	412(-8)	93.6⑩	大橋勇樹(栗東)	103
14	⑯	ラウルベア	牝	3	55	角田大和	4	2-3	35.4	456(+12)	96.6⑩	高野友和(栗東)	103

単勝②3,930円(9%)* 優勝②690円(9%)* ⑪380円(6%)* ⑨140円(1%)* 枠連②-⑦9,410円(21%)*

馬連②-⑪24,010円(45%)* ワイド②-⑪5,650円(46%)* ②-⑪2,920円(16%)* ⑨-⑪930円(10%)*

馬單②-⑪64,260円(102%)* 3連複②-⑪-⑯15,660円(53%)* 3連単②-⑪-⑯192,330円(492%)*



GIK
通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.7 - 48.0 - 59.8

アラカルト

- ・酒井学騎手はチューリップ賞初勝利。JRA重賞は本年初勝利 通算19勝目
- ・須貝尚介調教師はチューリップ賞初勝利。JRA重賞は本年初勝利 通算52勝目
- ・オルフェーヴル産駒はJRA重賞通算31勝目
- ・スリールミニョンは疾病(感冒)のため出走取消
- ・クリノメイ、ウォーターガーベラ、ビップディジーは桜花賞(GI)に優先出走できる

クリノメイ *Kurino Mei*

牝 栗毛 2022.5.8生
北海道日高町 木村牧場生産
馬主・栗本依利子氏 栗東・須貝尚介厩舎
馬名意味・冠名土金

ワインクアットデエンジャーCAN系 F22-a	
オルフェーヴル 栗毛 2008	ステイゴールド 黒鹿毛 1994
	サンデーサイレンスUSA ゴールデンサッシュ
	オリエンタルアート 栗毛 1997
	メジロマックイーン エレクトロアート
クリノエリザベス 鹿毛 2011	ブリサイスエンドUSA 黒鹿毛 1997
	End Sweep Precisely
	ワインクアットデエンジャーCAN 黒鹿毛 1991
	Danzig Tilt My Halo

5代までのインブリード: Halo S 4×M4 ノーザンテーストCAN S 4×S5
Northern Dancer M4×S5

INTERVIEW

木村豪繁殖牧場長(木村牧場)

気性面に気をつけながら育てました

レースは牧場で見ました。スタッフ達は、床が抜けるのではないかと思うほど興奮しながら応援していました。前走(ゲート内で立ち上がり外枠発走)からここまでしっかりとケアしていただいた須貝厩舎の方々に感謝いたします。母馬に似てこの馬もスイッチが入りやすい性格でしたので、気性面に気をつけながら育てました。無事に桜花賞を迎えてほしいです。

父オルフェーヴル

北海道白老町 (有)社台コーポレーション白老ファーム生産 中央、仏21戦12勝 (日本ダービーG₁、皐月賞G₁、菊花賞G₁、有馬記念G₁2回、宝塚記念G₁)、年度代表馬、最優秀3歳牡馬、最優秀4歳以上牡馬2回、14年から供用
 [代表産駒]エボカドーロ(皐月賞G₁、日本ダービーG₁2着)、ラッキーライラック(大阪杯G₁、エリザベス女王杯G₁2回、阪神ジュベナイルフィリーズG₁)、ウシュバテソーロ(ドバイワールドC・首G₁、東京大賞典G₁2回、川崎記念J_nI)、マルシュユロレス(BCディスタフ・米G₁)、ショウナンナデシコ(かわしわ記念J_nI)、オーソリティ(青葉賞G_{II}、アルゼンチン共和国杯G_{II}2回、ジャパンC G₁2着)、アイアンバローズ(ステイヤーズS G_{II})、オセアグレイト(ステイヤーズS G_{II})、シルヴァーソニック(ステイヤーズS G_{II})、ショウリュウイクゾ(日経新春杯G_{II})、クリノメイ(本馬)、他に重賞勝ち馬多数

母クリノエリザベス

北海道新ひだか町 タイヘイ牧場生産 中央6戦2勝(尾頭橋特別)、地方4戦3勝(リリーキング)

クリノスパークル(18 牝父フリオーソ)中央6戦0勝、地方5戦4勝

クリノリンカーン(20 牡父ブラ

(21 牝父オルフェーヴル)
クリノメイ 本馬(22 牝父オルフェーヴル)中央4戦3勝(チューリップ賞GⅡ、サフラン賞 優駿賞含む)1,105,000円

(24 牡父アスカクリチャン)

※19(流産), 23(前年種付けす)

祖母ウインクアットデエンジャーCAN

不出走。98年輸入、11年用途變更

ヴァリーフォールズ Val

リキマドレーUSA(97 牝父Miswaki)不出走、ステラマドレード(ラジオ NIKKEI賞GIII3着)、タートルベイ(北山S、桜島特別、中日杯、北國王冠)の母、マドリードカフェ(京都ハイジャンプJ-GII、万葉SOp)の祖母。
父モーリス(92 牝父マヨリス)、G1 GANB、中京2勝

バハバッハ(03 牝父アリートCAN)中央3勝
シリペーストーン(04 牡父スペシャルウィーク)中央2勝(フェニックス賞④P)、
地方1勝
デンジャーマネー(08 牝父マンハッタンカフェ)中央0勝、サンオーケレア
(レジーナナディンヴエルノ賞、グラントシャリオクイーンズ)の母
クリエイターズベス(11 前半)



Klobidze

新馬戦 サブラン賞を連勝して挑んだ阪神ジュベナイルフューリーズでは、アート内で立ち上がりがつてしまい、外枠発走に。激しい気性が災いして本来の能力を發揮できなかつた本馬たが、平常心を保てるよう、様々な工夫を凝らされて臨んだ3歳の始動戦で鮮やかな変わり身を見せた。ハナ差の勝利はサブラン賞に続いて2回目。勝負強さも光るオルフェーヴル産駒が桜花賞の中心勢力の一角に急浮上だ。

にかわり、定年を迎える河内洋調教師が送り出した最後の管理馬ウォーターガーベラがゴール前で内から強襲。勝負の行方はもつれたが、息の長い末脚と勝負根性を振り絞ったクリノメイがハナ差の接戦に競り勝った。

大敗から巻き返しハナ差で重賞初制覇

スタンドリフレッシュ工事が完了し、前日にリニューアルオープンを迎えた阪神競馬場。改築されたスタンドのもので行われた最初の重賞、桜花賞トラノアルのチューリップ賞には阪神ジュベナイルフィリーズの2着馬ビップディジーが参戦し、頭ひとつ抜けた支持を集めた。アルテミスSの5着馬マイエレメント、紅梅Sの覇者ナムラクララがこれに続く存在と目されたものの、ラがこれに続く存在と目されたものの、勝利の女神が微笑んだのは9番人気の伏兵クリノメイ。激しい気性も秘めるオルフェーヴル産駒が2歳女王決定戦の大敗(14着)から巻き返し、こけら落としの重賞を制した。

好スタートを切ったナムラクララがまずは押し出される形で先頭に立ったものの、最初の200m地点を過ぎたところでプリンセッサがこれをかわし、主導権を奪取。ビップディジーが2番手に続き、先行勢の隊列が定まる。互角以上の勢いで飛び出したクリノメイの酒井学騎手は好位のインにつけ、徐々に位置を下げたナムラクララがその外を追走。大外枠を引いたマイエレメントは中団の外で末脚を温存した。

内々で運んだ酒井騎手は直線に向くと、逃げ馬とビップディジーの間に開いたスペースを突いてスパート。ビップディジーも応戦して仕掛け、坂下から2頭が先頭を争う形勢に。手応えほど伸び切れなかつたビップディジー